

大阪大学教員のための

ファカルティ・ディベロップメント プログラムガイド



お問い合わせ先

各FDプログラムの詳細については、
開催部局にお問い合わせください。



発行

大阪大学 FD 委員会

編集

大阪大学教育・学生支援部教育企画課総務係
大阪大学スチューデント・ライフサイクルサポートセンター教学支援部
大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部



2026 年度

4 月～9 月

大阪大学教員の皆様へ

近年、大学はさまざまな「改革」を社会から求められています。その中でもとりわけ重要なことは、高等教育機関としての大学が優れた人材を育成し、社会に貢献していくことです。そのためには、教育を担う立場にある教員に高い教育・研究能力を備えることが必要であります。

本学は、2017年10月以降新たに採用された教員に対して、教育や研究等に関する30時間の研修プログラムの受講を必須化しております。この取り組みによって、大学の社会に対する説明責任を果たすとともに、本学の各教員に、教員として必要となる能力を身につける権利を保障するものです。

もとより本プログラムガイドに掲載されているセミナーや研修自体は、新任教員だけではなく、全教員を対象として設計されています。本学の教育、研究、社会学連携、マネジメントすべての領域で高いパフォーマンスを発揮するため、できるだけ多くの教員の皆様にご参加いただきたいと考えています。

概要

大阪大学ファカルティ・ディベロップメント研修プログラム

大阪大学はFD(ファカルティ・ディベロップメント)に積極的に取り組んでいます。本プログラムは、教員として必要な①教育能力、②研究能力、③社会学連携能力、④マネジメント能力の4つのカテゴリーに分けて整理されています。伸ばしたい能力にあわせてプログラムガイドをご活用ください。

教育能力 開発プログラム

教育技法や教材作成方法、評価方法、学内の授業支援システム(CLE)の操作方法、多様な学生への理解など、阪大生の学習を促すための授業設計に関するプログラムです。



マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

社会学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた道塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

新任教員の皆様へ

本学では、従来から教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的として、FD(ファカルティ・ディベロップメント)に積極的に取り組んでまいりました。これに加えて、本学へ新規採用となった教員の皆様に、本学の教員として身につけておくべき基本的な知識やスキルを習得する機会を提供するため、新任教員研修を必須化し、本学の教育、研究、社会学連携、学内運営に関する取組のさらなる向上を目指しています。

本学へ新規採用となった講師・助教等の教員の皆様には、このプログラムガイドを参考に、全学及び各部局が実施する各種教員向け研修を採用後3年間で30時間受講していただき、教育、研究、社会学連携及びマネジメント能力の習得に努めてください。

2026年前期のプログラムも多岐にわたる研修が開講されます。本学の教員として教育研究に携わるうえで有益なものですので、積極的な受講をお願いします。



理事・副学長(教育担当)
田中敏宏

🕒 研修プログラム受講必須時間数

新任教員の皆さんは採用後3年間で30時間のプログラムを受講してください。研修プログラムは分野ごとに4つのカテゴリーに分かれております。

〈各プログラムの受講必須時間〉

- ▶ 教育能力 開発プログラム 10時間以上
- ▶ 研究能力 開発プログラム 4時間以上
- ▶ 社会学連携能力 開発プログラム あわせて6時間以上
- ▶ マネジメント能力 開発プログラム あわせて6時間以上

※研修プログラムの受講時間数は、学内ポータルサイト「マイハндаイ」内「大阪大学CLE(授業支援システム)」の「コミュニティページ」にて確認することができます。受講時間のCLEへの反映は、受講されてから約2ヶ月後となりますことをご了承ください。

🎓 新任教員研修の修了証書

上記の受講時間数を満たした場合は、新任教員研修の修了証を発行します。



「未来の大学教員養成プログラム」等 ブレFDを修了した方へ

本学及び他大学においてブレFDプログラム(大学院生を対象とした教育能力開発プログラム)を修了した方は、修了プログラム等の内容に応じて、左記の研修プログラムの受講必須時間数に算入することができます。詳細については、所属部局の事務にお問合せください。

修了証書

殿
あなたは大阪大学新任教員研修プログラムにおいて30時間を修了しましたのでこれを証します

年 月 日
大阪大学理事

📄 大阪大学全学FDプログラム受講証明制度

大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部(旧:教育学習支援センター)では、2014年度から全学FDプログラムの受講証明制度を実施しています。教育学習支援部では、受講者の申し出に応じて、当部で提供しているプログラムに関して30時間ごとに受講証明書を発行します(上限120時間)。

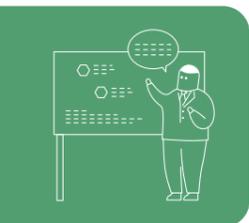
詳しくは、こちら → https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/

📄 研修プログラム一覧〈令和8年度上期(2026.4～2026.9)通年開催分〉

※いずれか1つの形式でご参加ください。

カテゴリ	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	日時	対面	オン ライン	オンデ マンド	時間数	掲載 ページ
教育	国際交流科目担当教員及びTA予定者対象 オリエンテーション並びにFD研修	4月3日 13:30-15:00	-	○	-	1.5	P.6
教育	動画教材作成法・基礎編：授業スライドを使った動画作成からLMS設定まで	4月6日 13:30-15:00	-	○	-	1.5	P.6
教育	授業デザインの方法	4月16日 16:50-18:20	-	○	-	1.5	P.6
教育	授業における生成AIの活用法【発展編】	4月22日 16:50-18:20	豊中	-	-	1.5	P.7
教育	動画教材作成法・応用編：生成AI支援による動画作成からLMS設定まで	5月11日 17:00-18:30	-	○	-	1.5	P.7
教育	アクティブ・ラーニング【実践編】	5月20日 17:00-18:00	-	○	-	1	P.7
教育	シラバスの書き方【実践編】	7月9日 16:50-18:20	-	○	-	1.5	P.8
教育	学生の心理と学生対応の基本的な考え方を学ぶ	8月26日 13:30-15:00	-	○	-	1.5	P.8
教育	授業における生成AIの活用法【実践共有・検討編】	9月1日 13:30-15:00	豊中	-	-	1.5	P.8
教育	大学におけるカルト問題	9月3日 13:30-15:00	-	○	-	1.5	P.9
教育	理学教育カリキュラム反省会	4月上旬	-	○	-	2.5	P.9
教育	高等司法研究科授業見学会	5-6月	豊中	-	-	1.5	P.9
教育	学生個別指導法～自尊心を傷つけないアプローチ～	7月開催予定	吹田	-	-	1.5	P.9
教育	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム (FDフォーラム)	オンライン：9月を予定 オンデマンド：10月～ 2026年3月を予定	-	○	○	2.5	P.10
教育	FD研修会	未定	吹田	-	-	1	P.10
教育	英語版授業づくりワークショップ (教育の国際化のためのFDワークショップ-学習者中心のアプローチを学ぶ-)	未定。詳細は全学教育支 援機構のホームページに 後日ご案内いたします。	豊中	-	-	12	P.10
教育	iPad Café (授業でのICT活用を考えるセミナー)	毎月第2木曜日 15:00-16:30	豊中	-	-	1.5	P.11
教育	CLE講習会 (入門編)	4月1日～3月31日	-	-	○	2	P.11
教育	CLE講習会 (応用編)	4月1日～3月31日	-	-	○	2	P.11
教育	アクティブ・ラーニング【基礎編】	4月1日～3月31日	-	-	○	1	P.11
教育	シラバスの書き方【基礎編】	4月1日～3月31日	-	-	○	1	P.12
教育	オンラインビデオ教材作成法 (Echo編)	4月1日～3月31日	-	-	○	1.5	P.12
教育	授業における生成AIの活用法【基礎編】	4月1日～3月31日	-	-	○	1	P.12
教育	学習評価	4月1日～3月31日	-	-	○	3	P.13
研究	総合解析センター説明会	4月1日 13:45-17:15	吹田	-	-	3.5	P.14
研究	研究・教育のための工作技術講習会－ガラス工作基礎	2日間[年2回(8-9月期) (2-3月期)開催]	豊中	-	-	15	P.14
研究	研究・教育のための工作技術講習会－ガラス工作アドバンス	2日間[年2回(8-9月期) (2-3月期)開催]	豊中	-	-	15	P.14
研究	研究・教育のための工作技術講習会－機械工作	4日間[年2回(8-9月期) (2-3月期)開催]	豊中	-	-	30	P.14
研究	蛋白研コロキウム	未定	吹田	○	-	1	P.15
研究	産学共創により研究成果を社会実装するには！	9月頃(2日間予定)	-	○	-	4	P.15
研究	生命機能研究科コロキウム	毎週火曜日 12:15-13:00	吹田	○	-	0.75	P.15
研究	微研集談会	1.8.12月を除く毎月第 4火曜日(16:00-17:00)	吹田	-	-	1	P.15
研究	アドバンスセミナー	3.4.8月を除く毎月1回 (16:00-17:00)	吹田	○	-	1	P.16
研究	ISTランチセミナー	週1回程度(12:00-13:00)	吹田	-	-	1	P.16
研究	機械工作スチューデントショップ利用のための安全講習会	週1回程度開催	豊中	-	-	1	P.16
研究	ISTネットワークイベント	年5回程度の開催を予定	吹田	-	-	1.5	P.16
研究	研究・教育のための3D-CAD入門講習会	毎月1回程度開催	豊中	-	-	3	P.17
研究	不正防止について	4月13日～3月20日	-	-	○	0.33	P.17
研究	オープンアクセスを巡る状況と大阪大学におけるオープンアクセス支援	6月1日～3月31日(予定)	-	-	○	1	P.17
研究	人文学研究者必見！テキストデータとTEIで描く新たな研究ビジョン	4月1日～3月31日	-	-	○	1	P.18
研究	人文学研究者必見！研究データ管理とはじめ～OUKAで始めるIIIF画像の公開と利活用～	4月1日～3月31日	-	-	○	1	P.18

カテゴリ	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	日時	対面	オン ライン	オンデ マンド	時間数	掲載 ページ
研究	倫理審査はなぜ必要？人を対象とする研究の「倫理原則」基礎知識	4月1日～3月31日	-	-	○	0.58	P.18
研究	オープンサイエンス時代における研究データマネジメント基礎	4月1日～3月31日	-	-	○	1.5	P.19
社会学連携	研究・教育のアウトリーチ活動における大学博物館の活用	5月18日 13:30-15:00	豊中	-	-	1.5	P.20
社会学連携	新任教員向け講義+適塾見学会～阪大の歴史を辿る～	5月29日 10:30-11:30	適塾	-	-	1	P.20
マネジメント	本学における障がい学生支援	4月23日 12:15-13:30	-	○	-	1.25	P.21
マネジメント	産研安全講習会	4月中旬～5月中旬	-	-	○	2	P.21
マネジメント	バイオセーフティ講習会	対面(吹田)・オンライン： 4月下旬～5月下旬 オンデマンド：講習内容を アップロード後随時	吹田	○	○	2	P.21
マネジメント	令和8年度大阪大学新入教職員安全衛生講習会	対面・オンライン：5月 オンデマンド：6月頃から 配信予定	吹田	○	○	1.5	P.21
マネジメント	蛋白研安全講習会	5月頃	吹田	○	-	1	P.22
マネジメント	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門吹田分室編)	対面・オンライン：5-6月頃 *後期の実施は未定 オンデマンド：7月頃から 配信予定	吹田	○	○	1.5	P.22
マネジメント	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門豊中分室編)	対面・オンライン：5-6月頃 *後期の実施は未定 オンデマンド：7月頃から 配信予定	豊中	○	○	1.5	P.22
マネジメント	実験系廃液・排水の取扱い	対面・オンライン：5-6月頃 *後期の実施は未定 オンデマンド：7月頃から 配信予定	吹田 豊中	○	○	1	P.22
マネジメント	詳解：化学物質安全取扱講習	対面・オンライン：5-6月頃 *後期の実施は未定	吹田 豊中	○	-	1.5	P.23
マネジメント	大阪大学高圧ガス管理支援システム (OGCS) 利用講習	対面・オンライン：5-6月頃 *後期の実施は未定 オンデマンド：7月頃から 配信予定	吹田 豊中	○	○	1	P.23
マネジメント	大阪大学薬品管理支援システム (OCCSIV) の利用について	対面・オンライン：5-6月 頃 *後期の実施は未定 オンデマンド：7月頃から 配信予定	吹田 豊中	○	○	1	P.23
マネジメント	非化学系のための化学薬品取扱講習	対面・オンライン：5-6月頃 *後期の実施は未定	吹田 豊中	○	-	1.5	P.23
マネジメント	理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会	対面・オンライン：6月下旬 ～7月上旬頃 オンデマンド：10月-11月頃	豊中	○	○	1	P.24
マネジメント	より良い人間関係を目指して～相手も自分も大切にするために～	7月開催予定	吹田	-	-	1.5	P.24
マネジメント	電気コンセントと電気配線の安全講習	7月頃から配信予定	-	-	○	1	P.24
マネジメント	ハラスメント防止等に関する研修会	7月上旬(予定)	-	○	-	1.5	P.24
マネジメント	メンタルヘルス・セルフケア～レジリエンス～	8月開催予定	吹田	-	-	1.5	P.25
マネジメント	工学研究科新任者研修	未定	吹田	-	-	6	P.25
マネジメント	基礎工学部・基礎工学研究科新任教員研修会	未定	-	○	-	2.5	P.25
マネジメント	SOGI研修	未定	未定	未定	-	1.5	P.26
マネジメント	Well-being研修	未定	未定	未定	-	1.5	P.26
マネジメント	アンコンシャス・バイアスに関する研修(仮)	未定	未定	未定	-	1.5	P.26
マネジメント	研究インテグリティを確保するために研究者に求められること	4月1日～3月31日	-	-	○	0.5	P.26
マネジメント	安全保障輸出管理の概要	4月1日～3月31日	-	-	○	1	P.27
マネジメント	大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)	4月1日～3月31日	-	-	○	1.17	P.27
マネジメント	産研メンター制度実施利用者に向けての講演会	対面：未定 オンデマンド：4月1日～ 3月31日(予定)	吹田	-	○	2	P.27



国際交流科目担当教員及び TA 予定者対象 オリエンテーション並びに FD 研修

講師：石倉 佑季子(国際機構 准教授)
程 文娟(国際機構 特任助教)
Kuy Howard(国際機構 特任助教)

オンライン 4月3日13:30-15:00

〈キーワード〉国際交流科目、他文化共修科目、英語による授業

〈概要〉毎年世界各国の協定校から多数の交換留学生が受講する国際交流科目は、英語で開催されること、多様な背景の学生が受講すること、本学の一般学生も同時に受講することなどから、配慮や工夫が求められる場面も多くあります。そのため、本オリエンテーション及びFDでは、国際交流科目について理解を深めていただくとともに、国際交流科目特有の課題や悩みについて、参加者同士が実践事例を共有しながら、英語による授業を実施する上で必要な知識やスキルを身につけることを目的としています。※詳細はマイハンダイに掲載の計画書をご確認ください。

《問合先：国際機構 国際教育交流センター 学生交流推進部門(担当：川上)》
✉ kawakami-yuki@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：希望者はメールにてお申し込みください(新任教員研修対象者は大阪大学個人IDを記載のこと)
(3月に国際交流科目担当教員宛に係る通知を予定しています。)》

動画教材作成法・基礎編： 授業スライドを使った動画作成から LMS 設定まで

講師：権藤 千恵(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)

オンライン 4月6日13:30-15:00

〈キーワード〉動画教材、アクセシビリティ、EdTech

〈概要〉本講座では、既存の授業資料を最大限に活かし、講師が実際に作成した教材をモデルケースとして、本学の標準環境(Microsoft 365/CLE)を使って、学生の学びを深める「動画教材」の作成・活用を行うための手順を紹介・解説します。具体的には以下のプロセスを実践的に学びます。

- ①パワーポイントスライドのスライドを動画にする方法。
- ②Clipchamp を用いたカット編集や自動文字起こし、AI 読み上げ。
- ③動画の Echo360 へのアップロード (LTI 連携)、Echo での字幕ファイルの設定方法。

《問合先：SLiCS センター 教学支援部》
✉ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：SLiCS センター・全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト
(https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》

授業デザインの方法

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンライン 4月16日16:50-18:20

〈キーワード〉教育技法、授業設計、学習目標、学習評価

〈概要〉大学教育を取り巻く環境が変わる中で、大学教員には、アクティブ・ラーニングや ICT ツールなどを適切に活用するための多様な教育能力が求められています。しかし、これらの先進的な教育技法を最大限に活かすためには、授業の骨組みとなるしっかりした授業デザインが不可欠です。そこで本研修では、教育学におけるインストラクショナル・デザインの理論に基づいた授業デザインの基本的な考え方や方法論について、ワークも交えながら実践的に学ぶことを目指します。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》
✉ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》

15名 1.5時間 日本語 オンライン

30名 1.5時間 日本語 オンライン

20名 1.5時間 日本語 オンライン

授業における生成AIの活用法【発展編】

講師：浦田 悠(全学教育推進機構 准教授)
長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)
村上 正行(全学教育推進機構 教授)

豊中 4月22日16:50-18:20

〈キーワード〉生成AI、学習評価、ICT活用

〈概要〉本研修では、生成AIの最新動向と、教育現場での具体的な活用法について実践的に学びます。基礎編で得た知識を土台に、生成AIを活用して授業の効率化や教育の質向上を図る実践的な知識やスキルを習得することを目的としています。本研修の前半では、最新動向も紹介しながら、生成AIが大学教育にもたらす可能性や課題を共有し、授業デザインや学習支援、業務効率化等に役立つ具体的な方法を紹介します。後半では、その操作方法を体験的に学び、参加者同士での議論を深めます。参加者は演習を通じて、生成AIを教育現場に適用する際の実務的なノウハウを習得し、自身の教育活動における新たな可能性を探る機会を得ることができます。生成AIをより高度に活用したい教員に最適な内容です。

※受講の際は、Chat GPT (https://chat.openai.com/) のアカウントを事前に準備していただくことをおすすめします。その他の文章生成AI (Gemini、Copilot、Claude等) をご準備いただいても構いません。

※パソコン (Windows・Mac) をご持参ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》
✉ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》

動画教材作成法・応用編： 生成AI支援による動画作成から LMS 設定まで

講師：権藤 千恵(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)

オンライン 5月11日17:00-18:30

〈キーワード〉教材開発、EdTech、マルチモーダル、反転学習

〈概要〉応用編では、生成 AI (NotebookLM、Flow、Gemini) を活用した教材制作の効率化と質の向上を目指します。講師作成の教材をモデルケースとして、AI による台本作成から最新ツールでの映像生成、CLE の LTI 連携による Echo360 を使った動画までの高度なワークフローを実践的に学びます。

- ①NotebookLM を使った教材作成の方法 (資料準備、仕様する図版、解説動画製作のためのプロンプト)。
- ②Clipchamp を使った簡易編集と字幕作成。
- ③LMS (blackboard/CLE) での運用方法。

《問合先：SLiCS センター 教学支援部》
✉ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：SLiCS センター・全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト
(https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》

アクティブ・ラーニング【実践編】

講師：村上 正行(全学教育推進機構 教授)
金 賢真(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)

オンライン 5月20日17:00-18:00

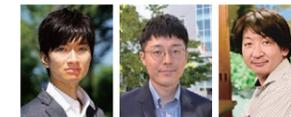
〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、「アクティブ・ラーニング 基礎編」を受講した方を対象に、ご自身でアクティブ・ラーニングの授業実践を設計していただき、その内容をグループワークでブラッシュアップしていくことを通して、アクティブ・ラーニングの授業設計能力を習得することを目的としています。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部》
✉ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》

25名 1.5時間 日本語 対面



15名 1.5時間 日本語 オンライン



制限なし 1時間 日本語 オンライン



- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

シラバスの書き方【実践編】

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)

オンライン 7月9日16:50-18:20

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは、授業内容の紹介だけでなく、授業の設計図として学生の学びを効果的に促進するための重要なツールです。本セミナーでは、授業の指針として学習のために活用できるようなシラバスの作成方法について説明します。講義形式の解説に加え、個人ワークを通じて、授業の目的や目標、内容設定、評価方法の作成スキルを身につけることを目指します。なお、本セミナーは令和6年度から導入された新フォーマットにも対応しています。※本セミナーは、「シラバスの書き方【基礎編】」の内容にワークを加えたプログラムとなっています。そのため、講義部分の内容が【基礎編】と重複しておりますので、あらかじめご了承ください。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》



制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

学生の心理と学生対応の基本的な考え方を学ぶ

講師：石金 直美(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

オンライン 8月26日13:30-15:00

〈キーワード〉学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツ

〈概要〉最近の学生の心理的特徴や心理的問題に対する理解を深め、学生対応の基本的な考え方とよりよいコミュニケーションの取り方を身につけることを目的とします。前半は学生の心理的特徴、心理的問題、学生とのコミュニケーションのコツについて講義形式で学び、後半は、事前に参加者からメンタル面での学生対応で困った事例を募り、実際の事例に即して対応方法を検討し、ディスカッションを行います。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談センター ☐ campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：1か月程度前にICHO掲示板に掲載されるICHOフォームにて事前のお申し込みをお願いします。新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

50名 1.5時間 日本語 オンライン

授業における生成AIの活用法【実践共有・検討編】

講師：浦田 悠(全学教育推進機構 准教授)

金賢 真(スチューデント・ライフサイクルサポートセンター 特任助教)
長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)
村上 正行(全学教育推進機構 教授)

豊中 9月1日13:30-15:00

〈キーワード〉生成AI、学習評価、ICT活用

〈概要〉本研修では、研修実施時点での生成AIの最新動向（主要サービスの機能更新、教育利用をめぐる論点、リスクと対応策）を紹介しつつ、実際に最新の生成AIサービスを操作し、教育実践への適用可能性を検討します。加えて、参加者が教育関連で実施している（あるいは実施を検討している）生成AI活用の実践例を相互に共有し、教育上の効果・限界・副作用（学習評価、学習者の自律性、学術的誠実性、プライバシー等）の観点から検討します。共有とディスカッションを通して、個別事例の「成功談」に留まらず、再現可能な実践方法として整理し、参加者が具体的なアクションにつなげることを目的とします。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)にて、開催前日の15時までにお申し込みください。》

25名 1.5時間 日本語 対面



大学におけるカルト問題

講師：太刀掛 俊之(キャンパスライフ健康支援・相談センター 教授)

オンライン 9月3日 13:30-15:00

〈キーワード〉カルト予防、安全配慮義務、心理的問題

〈概要〉本研修では、大学におけるカルト問題の現状とその背景について把握し、学生や教職員における予防とともに、問題が生じた場合の対応について理解を深めることを目的とします。講義形式で実施するとともに、担当講師と意見交換を行い、学生支援に対する理解を深めます。

《問合せ先：キャンパスライフ健康支援・相談センター 庶務係 ☐ campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：1か月程度前にICHO掲示板に掲載されるICHOフォームにて事前申込をお願いします。新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

制限なし 1.5時間 日本語 オンライン

限定 理学研究科

理学教育カリキュラム反省会

講師：古屋 秀隆(理学研究科 教授)

オンライン 4月上旬

〈キーワード〉新カリキュラム、プロジェクト教育、教育改革

〈概要〉新カリキュラム、プロジェクト教育及び大阪大学における教育改革等について報告・議論します。

《問合せ先：理学研究科 学務係 ☐ ri-gakumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：3月中旬、4月上旬に理学研究科全教員にメール配信するため、事前の受講申込の必要はありません。》

150名 2.5時間 日本語 オンライン

限定 大阪大学大学院高等司法研究科・法学研究科および関西大学法科大学院 全構成員

高等司法研究科授業見学会

講師：高等司法研究科 FD・教育企画委員会が選定した数名

豊中 5~6月

〈キーワード〉説明、指示、パワーポイント、板書、配布資料、教室マネジメント

〈概要〉高等司法研究科FD・教育企画委員会が選定した授業に参加し、授業の進め方、教授方法、配布資料等を実際に見学・見聞することによって、各自の授業を改善する手がかりを得ます。これにより、学生の知識習得と理解向上のため、必要なスキルを習得し、教育能力を向上することを目的とします。

《問合せ先：高等司法研究科 教務係 ☐ hokou-kousikyomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月以降、高等司法研究科授業担当教員、法学系新任教員を対象としたメールによる募集および申込受付をします。》

各回数数名程度 1.5時間 日本語 対面

学生個別指導法～自尊心を傷つけないアプローチ～

講師：根岸 和政(工学研究科 准教授)

吹田 7月開催予定

〈キーワード〉共感、労い、感謝、自己肯定感、効果的なフィードバック法

〈概要〉学生指導において、教職員の皆様が生徒時代に受けてこられた指導法では適応できない学生が一定数存在し、その対応に苦慮されていることと思います。研究に対する向き合い方を見せなくてもついて来ない、指示した内容に対して積極的な姿勢が見られない、失敗を過度に恐れる、周囲の学生と自分を比べて一喜一憂してしまう、高い目標を設定すると萎縮してしまう。このような学生の特徴としては、自己肯定感が低いことが挙げられます。この研修では、学生の自尊心を傷つけずに自己肯定感を喚起する指導法についてご紹介させていただきます。

《問合せ先：工学研究科 レジリエンスサポート&トレーニングセンター 工学部・工学研究科相談室 ☐ negishi@rest.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO 掲示板でご案内します。》

30名 1.5時間 日本語 対面

定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドай」(FD 関係)にてご確認ください。



教育能力 開発プログラム

大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム (FD フォーラム)

講師：未定

オンライン 9月を予定 **オンデマンド** 10月～2026年3月を予定

〈キーワード〉教育改革、ブレンドド教育、メディア授業、アクティブ・ラーニング等

〈概要〉本学教員に対し、ファカルティ・ディベロップメントの機会を提供し、教育指導・学習支援・学生支援能力の向上を図り、質の高い教育・学生支援活動の維持を目的とします。

- 1.基調講演またはパネルディスカッション：参加者全員を対象として情報提供を行います
- 2.グループセッション

《問合せ先：教育・学生支援部 教育企画課 総務係 ☐gakusei-gakumu-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：7～8月頃に各部署宛に受講者募集に係る通知を予定しています。》

オンライン：2.5時間
 300名
 オンデマンド：制限なし
 日本語
 オンライン
 オンデマンド

限定 蛋白質研究所

FD研修会

講師：各回によって異なる

吹田 未定

〈キーワード〉教育、研究、蛋白質

〈概要〉従来の教育・研究活動を超えて、所内教員の教育・研究遂行能力を高めることを目的とし、学内外から様々な分野の研究者やFD担当専門員を招聘し、研修会を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。若手研究者として大学院生も対象となる場合があります。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係 ☐tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部署構成員宛てメールにて通知予定です。》

60名程度
 1時間
 日本語
 対面

英語版授業づくりワークショップ (教育の国際化のためのFDワークショップ ～学習者中心のアプローチを学ぶ～) (FD Workshop for Globalization of Education: Towards a learner-centered approach)

講師：Team Denis

豊中 未定。詳細は全学教育推進機構のホームページに後日ご案内いたします

〈キーワード〉Course Design, Course Content, Learning Outcomes, Assessment Methods, Instructional Strategies, Microteaching

〈概要〉In this workshop, participants will learn about teaching and learning through a learner-centered approach by learning and practicing the theory of course design and through two micro-teaching sessions (mock classes). Participants will learn about the four themes of course design (Course Content, Learning Outcomes, Assessment Methods, and Instructional Strategies) and design their own courses in the morning session.

During the microteaching session in the afternoon, each participant will give a 5-minute microteaching session on his/her own subject and receive comments and feedback from the instructor, co-instructors (former workshop participants), and other participants. By the time of the second microteaching session, participants will have prepared for the second microteaching session by considering areas for improvement.

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_program/cdws-workshop.html) にて、開催日の2週間前までにお申し込みください。》

15名
 12時間
 English
 対面

iPad Café(授業でのICT活用を考えるセミナー)

講師：大前 智美(D3センター 准教授)

岩居 弘樹(D3センター 招へい教授)

豊中 毎月第2木曜日15:00-16:30

〈キーワード〉ICT活用、ICT活用学習支援、協働学習

〈概要〉学生が持っているiPhone、iPad、PCやさまざまなオンラインサービスをどのように授業で活用するか、参加者の皆さんと一緒に試しながら、授業方法や授業内容を改善することを目指しています。

《問合せ先：D3センター 言語教育支援研究部門 ☐ml-lls@g.les.cmc.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：上記メールアドレス宛にお知らせください。メーリングリストに登録し、毎月開催通知と出欠フォームをお送りします。》

制限なし
 1.5時間
 日本語
 対面

CLE講習会(入門編)

講師：外部講師

千葉 直也(D3センター 准教授)

白井 詩沙香(D3センター 准教授)

浦西 友樹(D3センター 教授)

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEでのコース作成方法の修得を目的に、CLEの基本操作について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：D3センター サイバーメディア教育研究部門 ☐ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへご参加ください。詳細は以下をご参照ください。(https://www.dropbox.com/s/ryf0rnf2myxvvgk/instructions.pdf?dl=0) ※講義動画視聴後に、講習会ページに掲載のリンクから受講報告を行ってください。》

制限なし
 2時間
 日本語
 オンデマンド



CLE講習会(応用編)

講師：外部講師

千葉 直也(D3センター 准教授)

白井 詩沙香(D3センター 准教授)

浦西 友樹(D3センター 教授)

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉授業支援システム、LMS、教育DX

〈概要〉本研修では、授業支援システムCLEの応用機能について学びます。本研修は講義動画による非同期型の研修です。

《問合せ先：D3センター サイバーメディア教育研究部門 ☐ecs-request@ecs.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の受講申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「CMC情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティへご参加ください。詳細は以下をご参照ください。(https://www.dropbox.com/s/ryf0rnf2myxvvgk/instructions.pdf?dl=0) ※講義動画視聴後に、講習会ページに掲載のリンクから受講報告を行ってください。》

制限なし
 2時間
 日本語
 オンデマンド



アクティブ・ラーニング【基礎編】

講師：村上 正行(全学教育推進機構 教授)

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉アクティブ・ラーニング、教育技法

〈概要〉アクティブ・ラーニングとは、学生の学習意欲の向上や汎用的能力の育成に有効な教授・学習法の総称です。本研修では、大学におけるアクティブ・ラーニングの導入背景やインスタラクショナル・デザインの基礎、対面授業やオンライン授業に活用できるアクティブ・ラーニングの手法について学び、自身の授業での活用について考えていただくことを目的としています。

《問合せ先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLEにログイン後、CLEの「FDプログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/)をご参照ください。》



制限なし
 1時間
 日本語
 オンデマンド

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドイ」(FD関係)にてご確認ください。

定員
 受講時間
 使用言語
 研修形式



教育能力 開発プログラム

シラバスの書き方【基礎編】

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉シラバス、授業設計、目的、目標、スケジュール、評価

〈概要〉シラバスは、授業内容の紹介だけでなく、授業の設計図として学生の学びを効果的に促進するための重要なツールです。本セミナーでは、授業の指針として学習のために活用できるようなシラバスの作成方法について説明します。特に、授業の目的や目標、内容設定、評価方法を作成する際のポイントについて詳しく解説します。なお、本セミナーは令和6年度から導入された新フォーマットにも対応しています。

※本セミナーは、「シラバスの書き方【実践編】」の講義部分のみを抜粋した内容です。ワークを交えながら実践的に学習したい場合は、オンライン(同時双方向型)で実施される「シラバスの書き方【実践編】」の受講をおすすめします。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「FD プログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) をご参照ください。》

オンラインビデオ教材作成法(Echo 編)

講師：浦西 友樹(D3 センター 教授)

浦田 悠(全学教育推進機構 准教授)



制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉オンライン授業、ICT活用、アクティブ・ラーニング

〈概要〉大阪大学の教職員であれば無料で使用できる Echo360 社の講義収録配信システムを用いれば、機材を設置している教室もしくはお手持ちのパソコンで、手軽にオンラインビデオ教材を作成・配信することができます。また、専用のアプリケーションとウェブカメラ(内蔵 or 外付け)を使えば、パソコン画面とカメラ映像の2画面を同時に収録・配信することも可能です。現在、このシステムは、オンライン授業はもちろん、予習や復習、出張時等の授業のオンライン化、補講での活用その他、部局や研究室でのオンライン講習や特別な配慮が必要な学生のための配信等、学内で様々な形で活用されています。本セミナーでは、ご自身のパソコンで実際に映像教材を作成する方法を学び、授業等での活用方法をご検討いただきます。

※受講の際は(可能であればウェブカメラ付の)パソコン(Windows もしくは Mac) および大阪大学個人ID・パスワードをご準備ください。

※ご自身のCLEのコースをお持ちでない教職員の方は、別途 Echo360 サポート窓口 (echo360@ml.office.osaka-u.ac.jp) までご連絡ください。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「CMC 情報教育システムオンラインセミナー」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) をご参照ください。》

授業における生成 AI の活用法【基礎編】

講師：長岡 徹郎(全学教育推進機構 助教)



制限なし 1時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉生成AI、学習評価、ICT活用

〈概要〉生成AIは、その高い自律性と汎用性から、様々な用途に活用できるツールです。しかし、生成AIはまだ発展途上の技術なので、解決すべき課題や問題が残されています。そのため、教育において生成AIを利用する際には、その長所と短所を理解し、慎重に運用することが重要です。そこで本FDセミナーでは、生成AIの教育利用を検討している教員を対象に、生成AIの基礎知識や利用時の注意事項について解説します。

※「授業における生成AIの活用法【発展編】」においては、生成AIに関する最新情報や具体的な活用方法について紹介します。本セミナーは生成AI初心者向けの内容なので、より高度な活用方法について学びたい場合は、【発展編】の受講をおすすめします。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「FD プログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) をご参照ください。》

学習評価

講師：浦田 悠(全学教育推進機構 准教授)



制限なし 3時間 日本語 オンデマンド

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉授業・学習、評価、成績評価

〈概要〉学習評価とは、授業の到達目標の達成度合いを測定することです。本セミナーでは、学生の学習を適切に評価し、さらなる学習を促すために、学習評価方法を身につけます。本学で推奨しているブレンDED授業を取り入れた授業における学習評価についても扱います。セミナーはオンデマンド形式で実施されます。参加者はご自身の担当している授業のシラバス(どれか1つ)をお手元にご用意いただき、受講ください。セミナーを受講後、必要に応じて修正いただいたシラバスの成績評価欄を提出ください。授業を担当されていない場合は、今後担当する予定のある授業を想定して送付ください。詳細な情報はオンデマンド教材においてお伝えいたします。

《問合先：全学教育推進機構 教育学習支援部 ☐ tlsc@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前の申込は不要です。CLE にログイン後、CLE の「FD プログラム動画教材」コミュニティを検索の上、ご登録・ご参加ください。詳細は全学教育推進機構 教育学習支援部のウェブサイト (https://www.tlsc.osaka-u.ac.jp/fd_seminar/) をご参照ください。》

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

学術情報の迅速かつ効率的な収集方法や発信方法、厳守すべき研究倫理など、研究を行う上で必要な能力開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。

◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

限定 産業科学研究所

総合解析センター説明会 (Instrumental Analysis Workshop)

講師：鈴木 健之(産研 准教授)

吹田 4月1日13:45-17:15

〈キーワード〉核磁気共鳴、質量分析、X線回折、電子顕微鏡 (NMR, MS, XRD, SEM)

〈概要〉分析の基本となる装置の分類についての概要を学びます。種類別に測定法の原理と測定装置の仕組み、研究への応用例について学びます。測定装置を利用する際の利用方法、共同利用するうえでのマナーおよび安全上の注意について学びます。

《問合せ先：産業科学研究所 総合解析センター》 ☐ cac-secretary@sanken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：電子メールにて所内等へ通知予定です。》



研究・教育のための工作技術講習会－ガラス工作基礎

講師：坂口 明(コアファシリティ機構 技術専門員)

古谷 浩志(コアファシリティ機構 教授)

豊中 2日間 (年2回 (8~9月期) (2~3月期)開催)

〈キーワード〉研究・教育用ものづくり実習、技術実習、ガラス加工技術、基礎編、2日間コース

〈概要〉研究・教育を行う上で必要なガラス実験器具を、自ら製作するためのガラス工作技術に関して、その基礎技術を2日間の実習を通して集中的に習得します。初めてガラス工作に携わる方も受講頂けます。

《問合せ先：コアファシリティ機構 ガラス工作メインショップ》 ☐ glass_mainshop@reno.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：年2回(8~9月・2~3月期)の開催に先立ち部局通知を行います。各部局を通してお申し込みください。コアファシリティ機構のHPにおいても開催告知しますのでご参照ください。》

《備考：別途材料費がかかります。詳細はHP(www.corefc.osaka-u.ac.jp)をご確認ください。》



研究・教育のための工作技術講習会－ガラス工作アドバンス

講師：坂口 明(コアファシリティ機構 技術専門員)

古谷 浩志(コアファシリティ機構 教授)

豊中 2日間 (年2回 (8~9月期) (2~3月期)開催)

〈キーワード〉研究・教育用ものづくり実習、技術実習、ガラス加工技術、アドバンスコース、2日間コース

〈概要〉研究・教育を行う上で必要なガラス実験器具を、自ら製作するために必要な難度の高いガラス工作技術を、特に中~上級者向けにアレンジし、2日間の実習を通して集中的に習得します。ガラス工作未経験の方、僅かの経験だけの方は、基礎編を受講の上で本アドバンスコースを受講ください。

《問合せ先：コアファシリティ機構 ガラス工作メインショップ》 ☐ glass_mainshop@reno.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：年2回(8~9月・2~3月期)の開催に先立ち部局通知を行います。各部局を通してお申し込みください。コアファシリティ機構のHPにおいても開催告知しますのでご参照ください。》

《備考：別途材料費がかかります。詳細はHP(www.corefc.osaka-u.ac.jp)をご確認ください。》



研究・教育のための工作技術講習会－機械工作

講師：林 樹一郎(コアファシリティ機構 技術専門職員)

宮本 浩之(コアファシリティ機構 技術専門員)

古谷 浩志(コアファシリティ機構 教授)

豊中 4日間 (年2回 (8~9月期) (2~3月期)開催)

〈キーワード〉研究・教育用ものづくり実習、技術実習、機械加工技術、3D-CADデザイン、4日間コース

〈概要〉研究・教育を行う上で必要となる独自の実験機器や実験器具等を、自ら設計・製作するための工作・設計技術を4日間の実習を通して集中的に習得します。旋盤・フライス盤・ボール盤・レーザー加工機など一連の機械加工装置や3D-CAD設計等の実習を行い、必要な基本工作技術のほぼ全てを学びます。

《問合せ先：コアファシリティ機構 工作オープンショップ》 ☐ kousaku_techcourse@reno.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：年2回(8~9月・2~3月期)の開催に先立ち部局通知を行います。各部局を通してお申し込みください。コアファシリティ機構のHPにおいても開催告知しますのでご参照ください。》

《備考：別途材料費がかかります。詳細はHP(www.corefc.osaka-u.ac.jp)をご確認ください。》



定員

受講時間

使用言語

研修形式

限定 蛋白質研究所

蛋白研コロキウム

講師：各回によって異なる

吹田 オンライン 未定

〈キーワード〉蛋白質分子、生体分子、構造生物学、データ科学、異分野融合研究

〈概要〉蛋白質研究所をハブとした大阪大学他部局との連携研究を促進することを目的とし、蛋白質を含む生体分子に関連する講演を開催します。年数回、場所は蛋白質研究所本館1階講堂で行います。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係》 ☐ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本部局構成員宛てメールにて通知予定です。》



産学共創により研究成果を社会実装するには！

講師：調整中

オンライン 9月頃 (2日間予定)

〈キーワード〉産学共創、研究成果の社会実装、ベンチャー起業、知的財産、企業との共同研究

〈概要〉産学共創により研究成果を社会実装するために必要な基本知識として、ベンチャー起業および知的財産戦略の重要性、企業等との産学共創の進め方とリスクマネジメント、また産学共創に関わる各種契約書の基礎知識と留意点について学びます。

《問合せ先：共創推進部 共創企画課 総務係》 ☐ kyousou-kikaku-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：【期日】未定

【申込方法】マイハンダイより申込み受付予定

【申込時記載事項】所属、役職、氏名(ふりがな)、連絡先(メールアドレス、電話番号)、受講を希望する講座番号 ※「新任教員研修としての受講」の場合は、受講状況の管理のため、必ず大阪大学個人IDをお知らせ願います。》



限定 生命機能研究科、FBSの研究室(兼任教員を含む)の構成員であれば、他部局所属者も可

生命機能研究科コロキウム (FBS Colloquium)

講師：年間予定表(別紙)に準ずる

吹田 オンライン 毎週火曜日 12:15-13:00

〈キーワード〉生命科学、生命のしくみ、融合研究 (Life science, Mechanisms of life, Interdisciplinary research)

〈概要〉週1回、各研究室が持ち回りで開催している研究セミナーです。最新の研究紹介、話題提供が行われ、お互いに議論することで研究科が目指す分野を超えた「融合」研究の熟成の場となっています。

《問合せ先：生命機能研究科 企画広報室》 ☐ kikaku.fbs@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：kikaku.fbs@office.osaka-u.ac.jp までお申し込みください。》



限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター

微研集談会(Biken Monthly Seminar)

講師：各回により異なる

吹田 1、8、12月を除く毎月第4火曜日 (16:00-17:00)

〈キーワード〉感染症、免疫学、がん、ゲノム解析学 (Infection, Immunity, Cancer, Genomics)

〈概要〉微生物病研究所、IFReCに所属する若手教職員を中心に、最新の研究成果について発表と、質疑応答を行います。本研究セミナーは医学系研究科単位認定セミナーでもあり、若手研究員としての大学院生教育目的も併せ持ちます。分野を超えた研究者の交流により、研究に対する視野を広げるとともに、活発な意見交換による研究者同士の切磋琢磨促進を目的とする研究セミナーです。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》 ☐ suishin@biken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野及び、医学系研究科に開催案内を通知します。受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できます。FD 新任研修としての受講希望者は、別途メールにて上記担当部署までお申し込みください。》



※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

アドバンストセミナー (Advanced Seminar Series)

講師：各回により異なる

吹田 **オンライン** 3、4、8月を除く毎月1回 (16:00-17:00)

〈キーワード〉感染症、免疫学 (Infection, Immunity)

〈概要〉学外から招聘した感染症学・免疫学分野の第一線の研究者によるレクチャーを開催します。基本的に月1回です。本セミナーは大学院高度副プログラム及び医学系研究科単位認定セミナーであり、若手研究者としての大学院生も対象です。各分野エキスパートの研究者による専門的なレクチャーにより、大学院生や若手研究者に感染症学・免疫学に関する最新の知識を得ることを目的とします。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：各回の前月に微生物病研究所と免疫学フロンティア研究センターの各分野、医学系研究科、その他理系生命系部局に開催案内を通知します。オンサイトの場合は受講希望者は事前申込なしに当日直接受講できます。オンラインの場合は事前申込制(メールで申込)です。FD 新任研修としての受講希望者は、別途メールにて上記担当部署までお申し込みください。》



研究・教育のための3D-CAD入門講習会

講師：林 樹一郎 (コアファシリティ機構 技術専門職員)

古谷 浩志 (コアファシリティ機構 教授)

豊中 毎月1回程度開催

〈キーワード〉3D-CADによるデザイン実習、3D設計、3Dプリントデータ作成、入門編

〈概要〉実験機器や実験器具の設計、3Dプリントモデルの作成を行う際に用いる3D-CADの入門講習会。代表的な3D-CADであるAutodesk社Fusion®を対象として、基本的な操作・デザイン方法を各自で3D-CADを操作して習得していきます。参加者は、Fusion®をインストールしたPCとマウスを持参してください (Fusion®は教育機関ライセンスで無償利用が可能です)。

《問合せ先：コアファシリティ機構 工作オープンショップ》 [✉ kousaku_techcourse@reno.osaka-u.ac.jp](mailto:kousaku_techcourse@reno.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：毎月1回程度開催しております。コアファシリティのHPにて開催日程を確認し、HPを通して受講をお申し込みください。コアファシリティ機構のHP (<https://www.corefc.osaka-u.ac.jp>)》



限定 情報科学研究科

ISTランチセミナー (IST Lunch Seminar)

講師：情報科学研究科 教員

Boost 学生
ゲスト講師

吹田 週1回程度 12:00-13:00

〈キーワード〉研究力向上、融合研究、共同研究 (Research Enhancement, Interdisciplinary research, Collaborative Research)

〈概要〉大阪大学大学院情報科学研究科内の融合研究の促進を目的とし、各研究者の研究内容や課題を共有し、ディスカッションします。

《問合せ先：情報科学研究科 研究戦略企画室》 [✉ ura@ist.osaka-u.ac.jp](mailto:ura@ist.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：研究科内構成員にメール等でアナウンスします。》



限定 微生物病研究所、免疫学フロンティア研究センター

不正防止について (Prevention of research misconduct and misuse of research funds)

講師：飯田 哲也 (微生物病研究所 所長)

吹田 4月13日~3月20日

〈キーワード〉研究不正、研究倫理、捏造、改ざん、剽窃、不正使用 (Research misconduct, Research ethics, Fabrication, Falsification, Plagiarism, Misuse)

〈概要〉本研修は「微生物病研究所・IFReC 諸施設の利用に関する合同オリエンテーション」における1メニューであり、微生物病研究所、IFReCに所属する全教職員・学生に対し、微生物病研究所所長によるオンラインレクチャー(オンデマンド)が行われます。また、5月以降の新任者にも、オンライン視聴を義務付けます。研究不正について、特に研究倫理不正と研究費不正にわけて解説をし、研究者のみならず、研究に関わる全ての学生・職員に対し、研究不正に手を染めないよう改めて注意を喚起することで、研究不正を未然に防止することを目的とします。

《問合せ先：微生物病研究所 企画広報推進室》 [✉ suishin@biken.osaka-u.ac.jp](mailto:suishin@biken.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：4月はじめに各分野宛に受講者募集に係る通知をします。受講希望者は、随時、申込フォームを記入しメールにて上記担当部署までお申し込みください。》



機械工作学生ワークショップ利用のための安全講習会

講師：林 樹一郎 (コアファシリティ 技術専門職員)

宮本 浩之 (コアファシリティ 技術専門員)
古谷 浩志 (コアファシリティ 教授)

豊中 週1回程度開催

〈キーワード〉安全講習会、研究・教育のためのセルフものづくり、開放工作室の利用

〈概要〉機械工作学生ワークショップ(開放工作室)では、研究者自身が様々な汎用工作機械やNC工作機器、3Dプリンタや3D計測器を使って研究・教育を行うために必要な“ものづくり”を行うことができます。本講習は機械工作学生ワークショップを利用するために受講が必要な安全講習会です。受講後に同ワークショップ利用のための許可証の発行手続きを行ってください。

《問合せ先：コアファシリティ機構 工作オープンショップ》 [✉ anzen_workshop@reno.osaka-u.ac.jp](mailto:anzen_workshop@reno.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：コアファシリティ機構 工作支援部門のHPから、開催日程を確認の上でお申し込みください。週1回程度の割合で開催しています。コアファシリティ機構のHP (<https://www.corefc.osaka-u.ac.jp>)》



オープンアクセスを巡る状況と 大阪大学におけるオープンアクセス支援

講師：図書館職員

吹田 6月1日~3月31日 (予定)

〈キーワード〉国のオープンアクセス基本方針、オープンアクセス、論文掲載料、転換契約、プレダトリージャーナル、機関リポジトリ、研究マネジメント総合支援システム

〈概要〉国のオープンアクセス基本方針により、2025年度以降新規に科研費等公的助成を受けた研究成果の即時公開が義務化され、研究者にとってオープンアクセスの基礎知識と実践方法を学ぶことが重要になっています。本研修では、電子ジャーナルの価格高騰、論文掲載料(APC)を必要とするオープンアクセス誌やハイブリッド誌の広がり、プレダトリージャーナルの出現など、大きく変わりつつある学術情報流通、とりわけオープンアクセスを巡る動向について解説します。さらに、大阪大学の研究者が利用できるAPC支援や「研究マネジメント総合支援システム(REMS)」を活用したリポジトリ登録支援、および国のオープンアクセス基本方針への対応方法について説明します。

《問合せ先：附属図書館 図書館企画課 企画係》 [✉ tosyoko-kikaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp](mailto:tosyo-kikaku-kikaku@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：配信開始後、附属図書館Webサイトに受講方法(コースへの登録方法)を掲載してICHO掲示板でお知らせします。大阪大学CLEにて動画を配信します。受講後所定のフォームから受講報告をしていただきます。附属図書館Webサイト (<https://www.library.osaka-u.ac.jp/>)》



※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドアイ」(FD関係)にてご確認ください。



研究能力 開発プログラム

人文学研究者必見！ テキストデータとTEIで描く新たな研究ビジョン

講師：吉賀 夏子(人文学研究科 准教授)
甲斐 尚人(D3 センター 准教授)
神崎 隼人(附属図書館 特任研究員)

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉 研究データ管理、TEI、テキストデータ、構造化データ

〈概要〉本研修は、研究データの公開の重要性が高まる中、その管理と利活用に関して人文社会科学系の研究者および学生が直面する課題に焦点を当て、知識と実践的スキルを提供することを目的としています。本動画では、研究者が小説や詩など様々なスタイルのテキストデータを分析する際に役立つTEI (Text Encoding Initiative) と呼ばれるデジタルヒューマニティーズ技術の基本や研究への応用例について紹介します。さらに、初心者向けのハンズオン2種類でTEIデータの作り方や簡単なテキスト分析を行います。

《問合せ先：グローバル日本学教育研究拠点 [✉gjs@ml.office.osaka-u.ac.jp](mailto:gjs@ml.office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込不要です。受講 URL (https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/courses/_208635_1/outline) 受講完了の際に、確認問題とアンケートの回答が必須です。》

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド



人文学研究者必見！研究データ管理とははじめ ～OUKA で始めるIIIF 画像の公開と利活用～

講師：吉賀 夏子(人文学研究科 准教授)
甲斐 尚人(D3 センター 准教授)
神崎 隼人(附属図書館 特任研究員)

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉 研究データ管理、OUKA、IIIF、画像

〈概要〉本研修は、研究データの公開の重要性が高まる中、その管理と利活用に関して人文社会科学系の研究者および学生が直面する課題に焦点を当て、知識と実践的スキルを提供することを目的としています。特に、デジタル・ヒューマニティーズの知見を活かし、研究での需要が高いと考えられる高精細な資料画像の閲覧と公開をIIIF (トリプルアイエフ) と呼ばれる国際的な枠組みを用いて行う手法および応用可能性について学びます。実際のケーススタディとして、OUKAに登録された懐徳堂関連文書を利用した閲覧方法および画像公開プロセスを紹介します。

《問合せ先：グローバル日本学教育研究拠点 [✉gjs@ml.office.osaka-u.ac.jp](mailto:gjs@ml.office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：事前申込不要です。受講 URL (https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/courses/_207560_1/outline) 受講完了の際に、確認問題とアンケートの回答が必須です。》

制限なし 1時間 日本語 オンデマンド



倫理審査はなぜ必要？ 人を対象とする研究の「倫理原則」基礎知識

講師：鈴木 美香(研究オフィス 講師)

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉 人を対象とする研究、倫理指針、倫理原則、倫理審査委員会

〈概要〉昨今、研究分野を問わず、人を対象とする研究について学会発表・論文投稿時に倫理審査委員会の承認を求められるケースが増えています。そもそも倫理審査はなぜ必要なのでしょう。この研修では、人を対象とする研究をする際に知っておきたい「倫理原則」や関連指針を紹介し、理系・文系問わずよりよい研究の実施に向けたセルフチェックができることを目的とします。

《問合せ先：研究推進部 研究推進課 総務係 [✉research-admin@office.osaka-u.ac.jp](mailto:research-admin@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：受講方法 ①CLE 授業支援システムにアクセス (<https://www.cle.osaka-u.ac.jp/>)
②自身の大阪大学個人IDとPWでログイン後、左側のリストパネルにある「コミュニティ」をクリック
③上の「コミュニティを検索」に「倫理」を入力
④「倫理審査はなぜ必要？人を対象とする研究の「倫理原則」基礎知識」をクリック
⑤左側のリストパネルにある「コンテンツ」をクリック
⑥「研修動画」をクリックして視聴
⑦視聴完了後、理解度チェック、受講確認フォームを回答》

制限なし 0.58時間 日本語 オンデマンド

オープンサイエンス時代における 研究データマネジメント基礎 (Learn the basics of research data management in the era of open science.)

講師：甲斐 尚人(D3センター 准教授)

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉 研究データマネジメント、オープンサイエンス、研究データ基盤、研究公正、研究データ管理計画、大阪大学研究データポリシー (Research Data Management, Open Science, Research Data Platform, Research Integrity, Data Management Plan, The University of Osaka Research Data Policy)

〈概要〉世界的なオープンサイエンスの潮流によって、体系的かつ組織的な研究データマネジメントの重要性やそのあり方が近年注目されています。競争的資金においても、研究データ管理計画 (DMP) の作成や研究成果のオープンアクセスが求められつつあり、2025年度より新たに公募する対象研究費については、論文及び根拠データの即時オープンアクセスを義務づけるよう決定されました。このような状況を踏まえ、本研修では、オープンサイエンスの動向や本学の研究データポリシーの解説を行うとともに、研究データライフサイクルの各段階の留意点などについて説明します。

《問合せ先：研究推進部 研究企画課 研究企画係 [✉research-support@office.osaka-u.ac.jp](mailto:research-support@office.osaka-u.ac.jp)》

《申込方法：(事前申込不要)マイハンダイ>大学本部事務機構>研究推進関係/About Research Promotion>(CLE 研修)オープンサイエンス時代における研究データマネジメントの基礎について学ぶ 受講完了には、確認問題とアンケートの回答が必須です。》



制限なし 1.5時間 日本語 オンデマンド English

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンダイ」(FD 関係)にてご確認ください。



研究・教育のアウトリーチ活動における 大学博物館の活用

講師：横田 洋(ミュージアム・リンクス 准教授)

豊中 5月18日13:30-15:00

〈キーワード〉アウトリーチ、大学博物館、研究、教育

〈概要〉研究や教育のアウトリーチ活動の場として、大学博物館を活用するメソッドの習得を目的とします。昨今、大学教職員の社会貢献の必要性が重要視され、教育や研究のアウトリーチ活動が必須となっています。本学では研究や教育のアウトリーチの場として、大学博物館を活用しており、その方法は展覧会、シンポジウム、ミュージアムレクチャーと多岐に渡ります。さらに本学博物館のユニークな部分として博物館を活用した教育があります。本研修では、それらの実例の見学を踏まえてメソッドや考え方を習得します。具体的には 2026 年度春期展覧会を展示担当者の解説を交えながら見学し、実際のなアプローチについて講座を実施します。

《問合先：共創推進部 社会連携課 総務係》
✉ kyousou-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO に掲載、あるいは各部局にメールにて募集要項・チラシなどを配付し、
マイハンダイ申込フォームにて参加を募ります。》

新任教員向け講義+適塾見学会～阪大の歴史を辿る～

講師：野村 玄(人文学研究科 教授)

松永 和浩(ミュージアム・リンクス 准教授)

適塾 5月29日10:30-11:30 (現地:大阪市中央区北浜)

〈キーワード〉適塾、適塾記念センター、適塾記念会、阪大の歴史、適塾顕彰活動、精神的源流、文化財

〈概要〉本学の教職員を対象として、『適塾と大阪大学の繋がり』に関する歴史的・精神認識や、適塾記念センター及び適塾記念会の顕彰事業の内容を啓発するために実施するものです。

- ・講義 (野村 玄) 30 分
- ・適塾見学 (松永 和浩) 30 分

〈目的〉・適塾が阪大の精神的源流とされる歴史認識や精神的意義を阪大構成員に伝え、理解いただくこと。

- ・適塾記念センター・適塾記念会が適塾顕彰活動を広く学内に啓発し、理解いただくこと。
- ・適塾と実際に触れていただき、身近に感じていただくこと。

《問合先：共創推進部 社会連携課 総務係》
✉ kyousou-syakai-soumu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO に掲載、あるいは各部局にメールにて募集要項・チラシなどを配付し、
マイハンダイ申込フォームにて参加を募ります。》

5名 1.5時間 日本語 対面

10名 1時間 日本語 対面

社学連携能力 開発プログラム

緒方洪庵が開いた適塾や大阪大学の歴史など本学への理解を深めるプログラムや、実社会と連携した教育や研究の進め方についてのプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式

本学における障がい学生支援

講師：望月 直人(キャンパスライフ健康支援・相談センター 准教授)

オンライン 4月23日12:15-13:30

〈キーワード〉合理的配慮、社会モデル

〈概要〉差別解消法に基づく法的義務として本学構成員に求められる、社会モデルから考える障がい学生支援に関する知識や基本的対応を身につけることを目的とします。ダイバーシティ&インクルージョンが推進される本学において、障がいをはじめ多様な人材で構成される大学の今後のあり方についても考える機会としたいです。

《問合先：キャンパスライフ健康支援・相談センター》
✉ campuslifekenkou-syomu@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：1 か月程度前にICHO 掲示板に掲載されるICHO フォームにて事前申し込みをお願いします。
新任教員研修プログラムのポイントが必要な方は申込時に大阪大学個人IDをお知らせください。》

限定 産業科学研究所

産研安全講習会

講師：技術職員

オンライン 4月中旬~5月中旬

〈キーワード〉安全衛生管理、研究安全、化学薬品管理、ガス・電気・機械の設備安全、情報セキュリティ

〈概要〉産研に新しく来られた学生・教職員全員を対象に行う安全衛生講習会です。化学実験、高圧ガス・薬品管理、工作機械取扱、電気管理、ネットワーク利用などについて知識を習得することを目的とします。

《問合先：産業科学研究所 技術室 羽子岡 仁志》
✉ haneoka@sanken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4 月に所内構成員に申し込み方法などを電子メールにて通知します。》

限定 産業科学研究所

バイオセーフティ講習会

講師：西 毅(産業科学研究所 准教授)

岡島 俊英(産業科学研究所 准教授)

和田 洋(産業科学研究所 准教授)

吹田 **オンライン** 4月下旬~5月下旬 **オンライン** 講習内容をアップロード後随時

〈キーワード〉安全管理、説明、遺伝子組換え実験、動物実験

〈概要〉産研においてバイオ実験に新しく従事する学生・研究者を対象に法令に関わる部分を中心に講習を行います。遺伝子組み換え実験、動物実験を安全に行うための注意事項、関連法並びに関係書類の作成方法等について、周知徹底を図ることを目的としています。

《問合先：産業科学研究所》
✉ tnishi@sanken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4 月～5 月に電子メールにて所内等へ通知する内容に基づきお申し込みください。》

限定 主に新規採用された教職員等

令和8年度大阪大学新入教職員安全衛生講習会

講師：未定

吹田 **オンライン** 5月頃 **オンライン** 6月頃から配信予定

〈キーワード〉安全衛生

〈概要〉新たに本学の教職員となった者を対象に、労働安全衛生規則第35条（雇入れ時等の教育）に基づき、本学における安全衛生管理の基本事項を理解していただくとともに、安全意識の向上、事故・災害発生の防止、健康の保持増進に役立てることを目的とします。

《問合先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》
✉ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

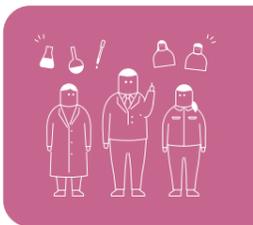
《申込方法：ICHO 掲示板にて、講習会の開催案内予定です。掲載内容に基づき、各自お申込みください。》

制限なし 1.25時間 日本語 オンライン

制限なし 2時間 日本語 オンラインオンデマンド

対面: 50名 2時間 日本語 対面: オンラインオンデマンド: 制限なし

対面・オンライン: 1.5時間 未定 日本語 対面: オンラインオンデマンド: 制限なし



マネジメント能力 開発プログラム

薬品や廃液の取扱など安全衛生に関わる内容や、各種コンプライアンスに関わる内容など、組織の管理運営能力の開発を目指すプログラムです。

◎受講にあたり、特別な配慮が必要な場合、開催2週間前までにご連絡ください。
◎本プログラムへの参加は「大阪大学FDポイント」に反映されます。ご自身のFDポイントはCLE上で確認できます。

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式



マネジメント能力 開発プログラム

限定 蛋白質研究所

蛋白研安全講習会

講師：未定

吹田 オンライン 5月頃

〈キーワード〉安全管理

〈概要〉本研究所において実験に従事する学生・教職員を対象に、遺伝子組換え実験、動物実験、RI実験などに関する法令を理解すること、および知識に基づく安全かつ適切な実験物管理法を習得することを目的として講習を行います。

《問合せ先：蛋白質研究所 庶務係》 ☐ tanpakuken-syomu@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：開催の約1ヶ月前に本局構成員宛てメールにて通知予定です。》

200名程度 1時間 日本語 対面
または
オンライン

高压ガス・液体寒剤に関する安全講習

(コアファシリティ機構低温科学支援部門 吹田分室編)

講師：櫻井 敬博(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 特任准教授)

吹田 オンライン 5~6月頃 ※後期の実施は未定 オンデマンド 7月頃から配信予定

〈キーワード〉高压ガス・液体寒剤

〈概要〉本研修は、安全衛生管理部が開催する安全衛生集中講習会の科目の一つです。
低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及びコアファシリティ機構低温科学支援部門の利用法について講習します。
また高压ガスや高压ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催を案内予定です。
掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

対面・オンライン：1.5時間 未定
オンデマンド：制限なし 日本語 対面
オンライン
オンデマンド

高压ガス・液体寒剤に関する安全講習

(コアファシリティ機構低温科学支援部門 豊中分室編)

講師：竹内 徹也(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 教授)

豊中 オンライン 5~6月頃 ※後期の実施は未定 オンデマンド 7月頃から配信予定

〈キーワード〉高压ガス・液体寒剤

〈概要〉本研修は、安全衛生管理部が開催する安全衛生集中講習会の科目の一つです。
低温寒剤の安全な取扱い方と注意点及びコアファシリティ機構低温科学支援部門の利用法について講習します。
また高压ガスや高压ガスボンベの取扱いについて初歩的な講習を行います。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催を案内予定です。
掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

対面・オンライン：1.5時間 未定
オンデマンド：制限なし 日本語 対面
オンライン
オンデマンド

実験系廃液・排水の取扱い

講師：角井 伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

豊中 吹田 オンライン 5~6月頃 ※後期の実施は未定 オンデマンド 7月頃から配信予定

〈キーワード〉実験系廃液・排水の取扱い

〈概要〉本研修は、安全衛生管理部が開催する安全衛生集中講習会の科目の一つです。
実験系廃液の取扱いでは、実験室で生じる廃液の貯留区分や回収方法、注意点など危険な事例を含めて研修します。
また実験系排水の取扱いでは、実験器具の洗浄方法・排水の規制項目や注意点、水質汚濁防止法の有害物質、管理要領・点検表、特定施設の届出などについて研修します。有機廃液管理責任者、無機廃液管理責任者、排水管理責任者に実験系廃液・排水についての取扱いについて習得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催を案内予定です。
掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

対面・オンライン：1時間 未定
オンデマンド：制限なし 日本語 対面
オンライン
オンデマンド

詳解：化学物質安全取扱講習

講師：山本 仁(安全衛生管理部 教授)

豊中 吹田 オンライン 5~6月頃 ※後期の実施は未定

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉本研修は、安全衛生管理部が開催する安全衛生集中講習会の科目の一つです。
化学薬品の安全な取扱いに関する知識と、関連する主な法令に基づく適切な薬品管理の方法について解説します。
また、薬品等の廃棄に関する方法、概念についても説明します。化学薬品の安全な取扱いに関する知識と法令に基づく適切な薬品管理の方法を取得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催を案内予定です。
掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

未定 1.5時間 日本語 対面
オンライン

大阪大学高压ガス管理支援システム(OGCS)利用講習

講師：櫻井 敬博(コアファシリティ機構 低温科学支援部門 特任准教授)

豊中 吹田 オンライン 5~6月頃 ※後期の実施は未定 オンデマンド 7月頃から配信予定

〈キーワード〉高压ガス管理支援システム

〈概要〉本研修は、安全衛生管理部が開催する安全衛生集中講習会の科目の一つです。
高压ガスを取り扱う教職員で大阪大学高压ガス管理システム(OGCS)を使用する教職員が使用方法を習得とします。
部局で運用が開始された大阪大学高压ガス管理システム(OGCS)の使用方法について説明します。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催を案内予定です。
掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

対面・オンライン：1時間 未定
オンデマンド：制限なし 日本語 対面
オンライン
オンデマンド

大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の利用について

講師：角井 伸次(環境安全研究管理センター 准教授)

豊中 吹田 オンライン 5~6月頃 ※後期の実施は未定 オンデマンド 7月頃から配信予定

〈キーワード〉大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)

〈概要〉本研修は、安全衛生管理部が開催する安全衛生集中講習会の科目の一つです。
大阪大学薬品管理支援システム(OCCSIV)の使用方法(化学薬品の登録と集計)を習得することを目的としています。
また、化学物質に関連する法令等による規制についても理解を深めます。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催を案内予定です。
掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

対面・オンライン：1時間 未定
オンデマンド：制限なし 日本語 対面
オンライン
オンデマンド

非化学系のための化学薬品取扱講習

講師：山本 仁(安全衛生管理部 教授)

豊中 吹田 オンライン 5~6月頃 ※後期の実施は未定

〈キーワード〉化学薬品

〈概要〉本研修は、安全衛生管理部が開催する安全衛生集中講習会の科目の一つです。
非化学系(生物系・物理系)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員に対して、化学物質が危険性・有害性を有していること、管理の必要性、法規制、管理方法、危険有害性情報、法令情報の取得方法について学びます。
非化学系(生物系・物理系等)の研究分野で化学薬品を取り扱う教職員が安全な取扱いについて必要な知識を取得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係》 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp 《

《申込方法：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催を案内予定です。
掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》

対面・オンライン：1.5時間 未定 日本語 対面
オンライン

※掲載内容は2月末時点の情報です。
最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドай」(FD 関係)にてご確認ください。

- 定員
- 受講時間
- 使用言語
- 研修形式



マネジメント能力 開発プログラム

限定 理学研究科

理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会

講師：未定

意中 オンライン 6月下旬～7月上旬頃 オフデマンド 10月～11月頃

〈キーワード〉ハラスメント防止

〈概要〉理学研究科教職員を対象に、ハラスメントに関する講演を行います。ハラスメント防止のための意識啓発に資することを目的としています。

《問合せ先：理学研究科 人事係 ☐ ri-jinji@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催が決定次第、研究科構成員あて通知及びポスターの掲示を予定です。お申し込みは不要です。》



より良い人間関係を目指して ～相手も自分も大切にするために～

講師：根岸 和政(工学研究科 准教授)

吹田 7月開催予定

〈キーワード〉コミュニケーション、感情のコントロール、他者視点、レジリエンス、ハラスメント

〈概要〉私たちは、性別・国籍・能力・思想・思考・成育歴・性格・ストレスの脆弱性など個々それぞれで、好き嫌い、馬が合う合わないがあるのは当然です。唯一共通していることは「人間であること」です。同じ人間として、互いに敬意を込めて関わるのが、より良い人間関係を育む第一歩です。より良い人間関係は、円滑な業務・研究 / 教育活動の土台となり、ひいてはハラスメント防止、メンタルヘルス対策にもなります。この研修では、良い人間関係を育む心構えとコミュニケーションスキルを紹介させていただきます。

《問合せ先：工学研究科 レジリエンスサポート&トレーニングセンター 工学部・工学研究科相談室 ☐ negishi@rest.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO 掲示板でご案内します。》



電気コンセントと電気配線の安全講習

講師：百瀬 英毅(安全衛生管理部 教授)

オフデマンド 7月頃から配信予定

〈キーワード〉電気コンセント

〈概要〉実験等で安全に電気を取り扱うための基本事項を取得することを目的とします。

《問合せ先：総務部 安全衛生管理室 推進第一係 ☐ anzen-suisindai1@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO 及び KOAN の各掲示板にて、講習会の開催を案内予定です。掲載内容に基づき、各自お申し込みください。》



限定 全教職員・学生・一般

ハラスメント防止等に関する研修会

講師：未定

オンライン 7月上旬（予定）

〈キーワード〉ハラスメント問題、人権問題

〈概要〉ハラスメント問題に関して正しい理解と認識を深めることを目的とし、ハラスメント問題（テーマは未定）について講師よりお話をさせていただきます。

《問合せ先：総務課 文書法規係 ☐ soumu-soumu-bunshyohouki@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催月の1か月程前に受講者募集に係る通知を大学ホームページ及びICHO/KOANに掲載予定です。》



メンタルヘルス・セルフケア～レジリエンス～

講師：根岸 和政(工学研究科 准教授)

吹田 8月開催予定

〈キーワード〉メンタルヘルス・セルフケア、レジリエンス、ストレス、リラクゼーション

〈概要〉業務・研究・教育指導の中で抱えるストレスは、非常に高いと思います。ストレスを蓄積させたまま業務・研究・教育を遂行することは、心身の健康に悪影響を及ぼしかねません。この研修では、心身の健康を維持する上で欠かせないメンタルヘルス・セルフケアの観点から、ストレスの扱い方、簡単にできるリラクゼーション法、心身の健康維持増進に寄与するレジリエンスについてご紹介させていただきます。

《問合せ先：工学研究科 レジリエンスサポート&トレーニングセンター 工学部・工学研究科相談室 ☐ negishi@rest.eng.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO 掲示板でご案内します。》



限定 工学研究科

工学研究科新任者研修

講師：大政 健史(大学院工学研究科 教授)
大阪大学ハラスメント相談室 専門相談員
その他講師は調整中

吹田 未定

〈キーワード〉工学研究科、研究倫理、研究不正防止、財務基本知識、ハラスメント防止、教員・事務系職員のチームビルディング

〈概要〉工学研究科を取り巻く状況、工学研究科におけるコンプライアンスの取り組み、工学研究科の財務基本知識、工学研究科の研究力強化、フューチャー・デザイン、ハラスメントを回避する方法、交流研修等により構成され、全体で約6時間を予定し、工学研究科の新任教職員を対象とします。新たに工学研究科に赴任され、教育・研究又は事務を担当する教職員を対象に、本研究科の現状を認識し、大学における教育・研究およびその支援を担当する教職員としての使命、役割、心構えを持つことを目的とします。円滑に業務を遂行するために、教員・事務系職員との交流を促進します。

《問合せ先：工学研究科 総務課 人事係 ☐ kou-soumu-jinji@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：開催1カ月前頃、研究科内対象者宛に通知を予定(メール配信)しています。出欠の可否について、直接担当部署宛に連絡いただく予定です。》



限定 基礎工学研究科

基礎工学部・基礎工学研究科新任教員研修会

講師：基礎工学部長
基礎工学研究科長
事務部等

オンライン 未定

〈キーワード〉説明、配付資料、基礎工学部・基礎工学研究科、教育、研究、学生支援、事務手続き

〈概要〉「基礎工学部・基礎工学研究科の沿革と現在」、「非常時の対応について」、「基礎工学部・基礎工学研究科の教育」、「基礎工学部・基礎工学研究科の学生支援」、「研究企画推進について」、「基礎工学研究科における事務手続きについて」という6つの講義において講師が説明を行い、最後に質疑応答を行います。基礎工学部・基礎工学研究科の教育を担当することになった教員等を対象に、大阪大学、基礎工学部、基礎工学研究科の現状についての認識を深めるとともに、大学教育を担当する教員として、教育に関する力を高めることを目的とします。

《問合せ先：基礎工学研究科 人事係 ☐ ki-jinji@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：4月以降に対象者向け通知を発出予定です。対象者は参加の可否をメールで回答します。》



定員

受講時間

使用言語

研修形式

※掲載内容は2月末時点の情報です。最新情報は各開催部局にお問い合わせいただくか、学内ポータルサイト「マイハンドアイ」(FD 関係)にてご確認ください。



マネジメント能力 開発プログラム

SOGI 研修

講師：未定

未定 未定

〈キーワード〉LGBTQ+、SOGIE、ダイバーシティ&インクルージョン、DE&I

〈概要〉学外有識者による講演を通じて、「性的指向 (Sexual Orientation)」と「性自認 (Gender Identity)」の多様性と権利を認識し、偏見と差別をなくし、業務遂行にあたり適切な対応ができるよう理解を深めます。

《問合せ先：企画部 ダイバーシティ推進課 ☐ di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申込みください。》



Well-being 研修

講師：未定

未定 未定

〈キーワード〉健康課題、ウェルビーイング、Well-being、ダイバーシティ&インクルージョン、DE&I

〈概要〉職場において正確に把握されることが難しい健康課題等（更年期障害、PMSなど）を理解することで、組織の生産性向上と、誰もが能力を存分に発揮できる修学・就業環境の整備につなげます。

《問合せ先：企画部 ダイバーシティ推進課 ☐ di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申込みください。》



アンコンシャス・バイアスに関する研修(仮)

講師：未定

未定 未定

〈キーワード〉DE&I、ダイバーシティ&インクルージョン、アンコンシャス・バイアス

〈概要〉ダイバーシティ阻害要因の一つとされるアンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）に着目し、自分の中のアンコンシャス・バイアスに気づき、適切に対処するきっかけとするため、令和4年度から学内全構成員（学生及び教職員）を対象としたe-learning研修（オンデマンド型）を実施していますが、更なるアンコンシャス・バイアスの払しょくのために、マジョリティの無自覚な「特権」についての認識を深めます。

《問合せ先：企画部 ダイバーシティ推進課 ☐ di-center@ml.office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：ICHO 掲示板、KOAN 及び各部局等事務部へのメール通知等で開催案内を送付します。案内に書かれた方法により各自お申込みください。》



研究インテグリティを確保するために 研究者に求められること

講師：金美善(国際連携研究リスク統括室 教授)

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉研究インテグリティ、研究セキュリティ、安全保障輸出管理、経済安全保障

〈概要〉研究インテグリティ及び研究セキュリティは、研究の国際化やオープン化に伴う新たなリスクに対して新たに確保が求められる、研究の健全性・公正性であり、各研究者の自主的な管理と所属機関におけるリスクマネジメントが求められています。本講義では、研究インテグリティ及び研究セキュリティの概要について説明した上で、研究者が注意すべき点、ヒヤリハット事例等を紹介しします。

《問合せ先：研究推進部 研究推進課 安全保障輸出管理・研究インテグリティ担当 ☐ s-export@ml.office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前申込は不要です。CLE から受講できます。受講完了にはアンケートへの回答が必須です。》



安全保障輸出管理の概要

講師：金美善(国際連携研究リスク統括室 教授)

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉安全保障輸出管理、技術提供、貨物の輸出、留学生の受入、外為法

〈概要〉安全保障貿易管理とは、我が国の技術や貨物が、軍事転用されることを防ぐために外為法等に基づいて技術の提供等の管理を行うことを意味します。大学のコンプライアンス（法令遵守）の一部でもあります。研究者の貴重な研究を守るための手段としても重要な役割を担います。本講義では、安全保障輸出管理の概要と本学における手続きについて理解することを目的とします。

《問合せ先：研究推進部 研究推進課 安全保障輸出管理・研究インテグリティ担当 ☐ s-export@ml.office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：事前申込は不要です。CLE から受講できます。受講完了にはアンケートへの回答が必須です。》



限定 令和8年4月1日以降新たに採用された教員、研究員及び事務職員課長以上の事務系職員

大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)

講師：総長

理事

オンデマンド 4月1日～3月31日

〈キーワード〉ガバナンス、教育、グローバル化、財務状況、社学共創、産学共創、ダイバーシティ&インクルージョン、研究推進、人事・労務

〈概要〉新任教職員に対して、役員等による講義を行います。本学の教職員としての自覚と意識の確立を図り、本学の組織・教育体制やミッション等、必要な基礎的知識を身につけ、職場への適応力を養い、教職員の資質の向上を図ることを目的とします。

《問合せ先：総務部 人事課 人材育成係 ☐ soumu-jinji-ikusei@office.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：CLE より各自受講してください。受講後アンケートの提出をもって受講完了となります。
【受講 URL】CLE > コミュニティ検索 > 大阪大学新任教職員研修(大学理解研修)
https://www.cle.osaka-u.ac.jp/ultra/organizations/_233791_1/outline》



限定 産業科学研究所

産研メンター制度実施利用者に向けての講演会

講師：未定

吹田 未定 オンデマンド 4月1日～3月31日 (予定)

〈キーワード〉メンタリング、ロールモデル、人材育成、支援、助言、メンティ、メンター

〈概要〉令和5年10月から産研メンター制度を試行的に実施しており、メンター制度の概要、制度先行大学における効果等について説明し、産研所属教職員が制度への理解を深めるとともに、制度適用有資格者のメンティ又はメンター候補者への応募を促進させることを目的とします。また、産研メンター制度を利用しない教職員についても、メンタリング等について知識を得ることにより、部下や学生等への適切な指導に役立てることを目的とします。

《問合せ先：産業科学研究所 戦略室 ☐ sanken-mentor-system@sanken.osaka-u.ac.jp》

《申込方法：産業科学研究所内に受講者募集に係る通知を予定しています。》



定員

受講時間

使用言語

研修形式

📄 オンデマンド一覧〈令和8年度上期(2026.4～2026.9)通年開催分〉

カテゴリ	研修題目 (研究テーマ/タイトル)	日時	時間数	掲載 ページ
教育	大阪大学ファカルティ・ディベロップメントフォーラム (FDフォーラム)	10月～2026年3月を予定	2.5	P.10
教育	CLE講習会 (入門編)	4月1日～3月31日	2	P.11
教育	CLE講習会 (応用編)	4月1日～3月31日	2	P.11
教育	アクティブ・ラーニング【基礎編】	4月1日～3月31日	1	P.11
教育	シラバスの書き方【基礎編】	4月1日～3月31日	1	P.12
教育	オンラインビデオ教材作成法 (Echo編)	4月1日～3月31日	1.5	P.12
教育	授業における生成AIの活用法【基礎編】	4月1日～3月31日	1	P.12
教育	学習評価	4月1日～3月31日	3	P.13
研究	不正防止について	4月13日～3月20日	0.33	P.17
研究	オープンアクセスを巡る状況と大阪大学におけるオープンアクセス支援	6月1日～3月31日(予定)	1	P.17
研究	人文学研究者必見! テキストデータとTEIで描く新たな研究ビジョン	4月1日～3月31日	1	P.18
研究	人文学研究者必見! 研究データ管理ことはじめ-OUKAで始める IIIF画像の公開と利活用ー	4月1日～3月31日	1	P.18
研究	倫理審査はなぜ必要? 人を対象とする研究の「倫理原則」基礎知識	4月1日～3月31日	0.58	P.18
研究	オープンサイエンス時代における研究データマネジメント基礎	4月1日～3月31日	1.5	P.19
マネジメント	産研安全講習会	4月中旬～5月中旬	2	P.21
マネジメント	バイオセーフティ講習会	講習内容を アップロード後随時	2	P.21
マネジメント	令和8年度大阪大学新入教職員安全衛生講習会	6月頃から配信予定	1.5	P.21
マネジメント	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門吹田分室編)	7月頃から配信予定	1.5	P.22
マネジメント	高圧ガス・液体寒剤に関する安全講習 (コアファシリティ機構低温科学支援部門豊中分室編)	7月頃から配信予定	1.5	P.22
マネジメント	実験系廃液・排水の取扱い	7月頃から配信予定	1	P.22
マネジメント	大阪大学高圧ガス管理支援システム (OGCS) 利用講習	7月頃から配信予定	1	P.23
マネジメント	大阪大学薬品管理支援システム (OCCSIV) の利用について	7月頃から配信予定	1	P.23
マネジメント	電気コンセントと電気配線の安全講習	7月頃から配信予定	1	P.24
マネジメント	理学研究科・理学部ハラスメントに関する研修会	10月～11月頃	1	P.24
マネジメント	研究インテグリティを確保するために研究者に求められること	4月1日～3月31日	0.5	P.26
マネジメント	安全保障輸出管理の概要	4月1日～3月31日	1	P.27
マネジメント	大阪大学新任教職員研修 (大学理解研修)	4月1日～3月31日	1.17	P.27
マネジメント	産研メンター制度実施利用者に向けての講演会	4月1日～3月31日(予定)	2	P.27